

建設副産物小口巡回回収システムについて

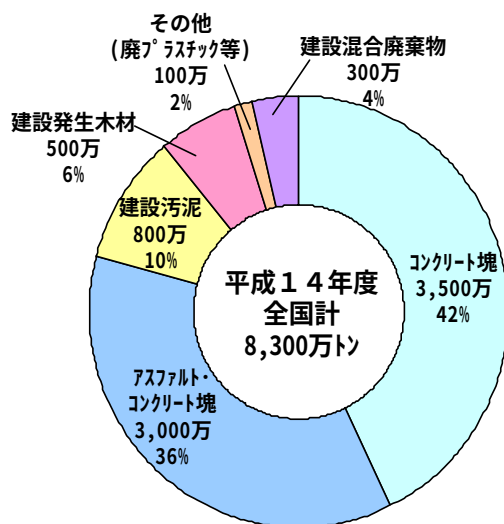
～混ぜればゴミ、分ければ資源～



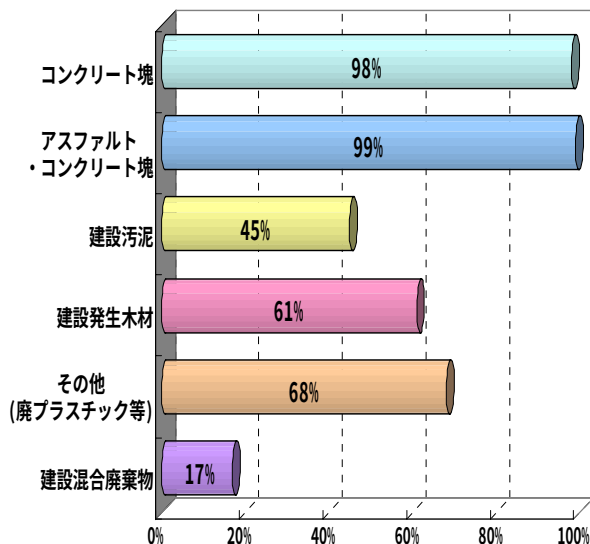
国土交通省

建設副産物対策の方向性

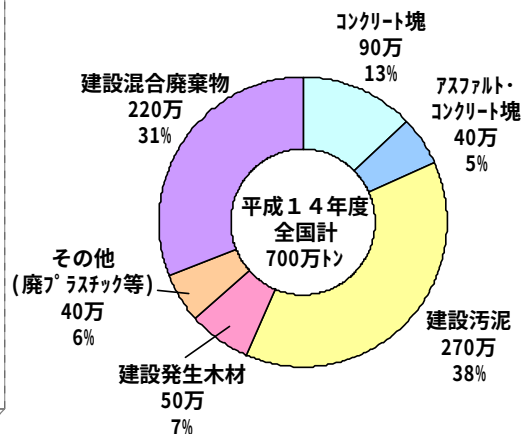
- コンクリート塊 : 現状の高い水準を確保
 - アスファルト・コンクリート塊 : 現状の高い水準を確保
 - 建設汚泥 : 建設発生土と一体となってリサイクル促進施策を実施
 - 建設発生木材
 - その他 (廃プラスチック等)
 - 建設混合廃棄物
- 分別の徹底により、再資源化を促進



品目別排出量



品目別再資源化率 (H14)

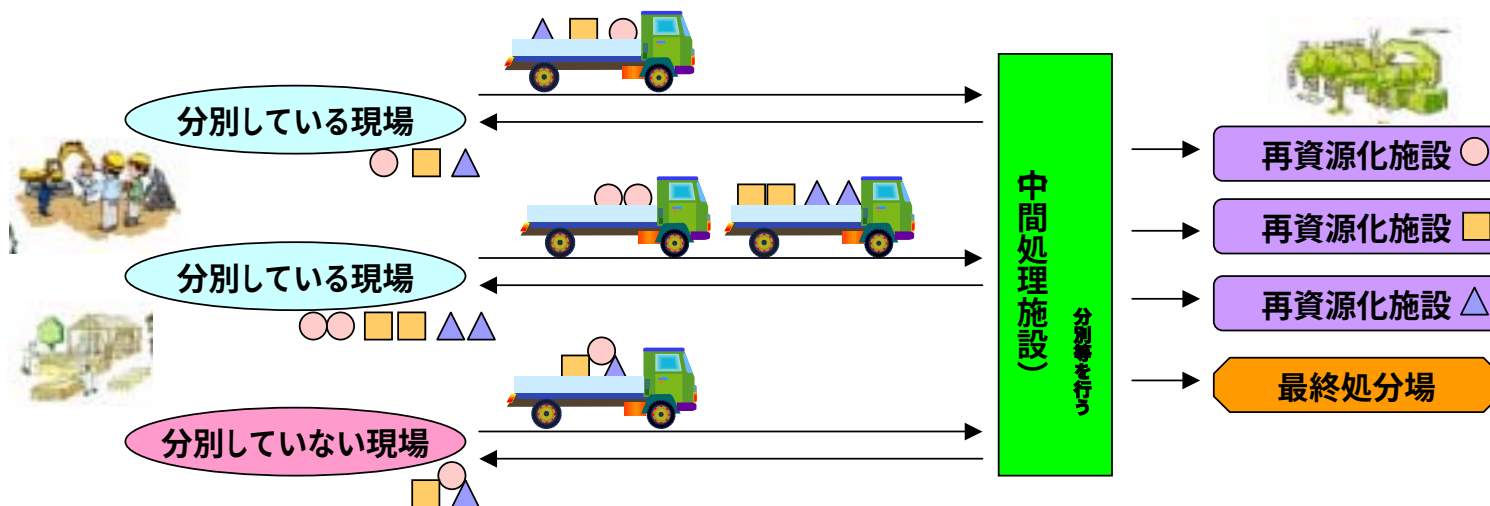


品目別最終処分量

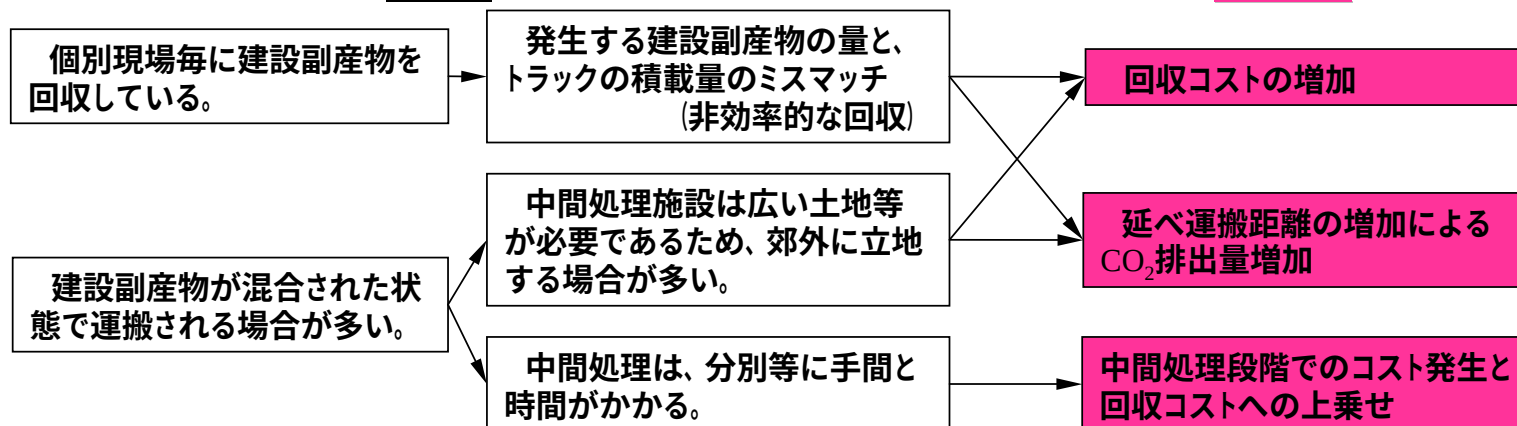
※平成14年度建設副産物実態調査結果より作成

注) 四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある

従来型のシステム(個別現場回収)で回収した場合



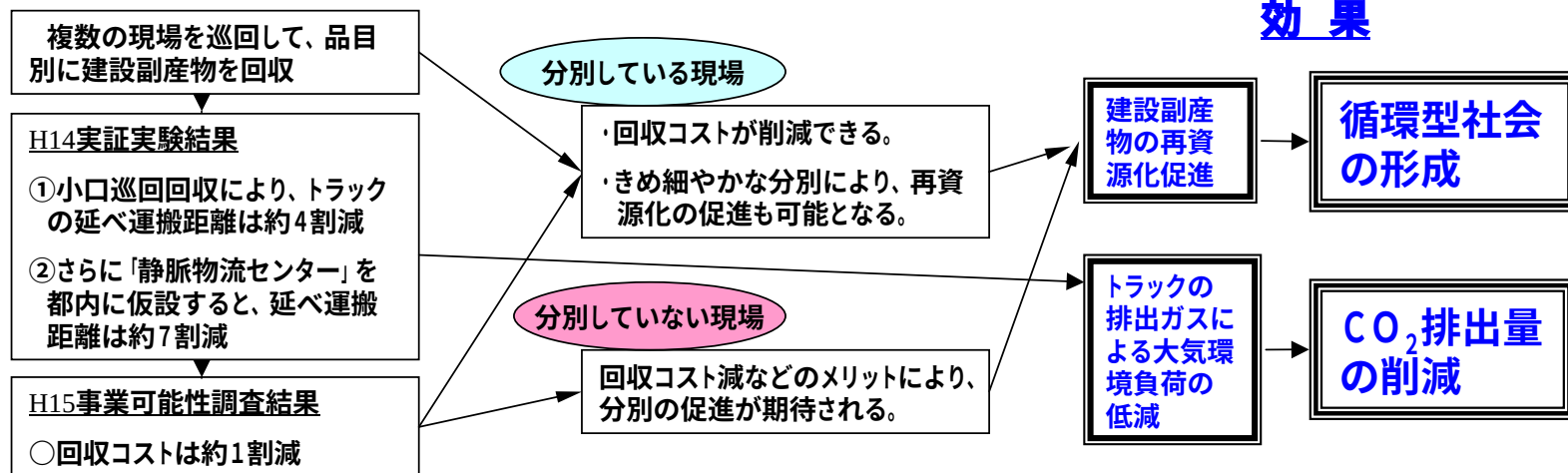
現 状



建設副産物小口巡回回収システムの場合



効果



メリット：安い、便利、重宝

建設副産物小口巡回回収システムの実証実験



実証実験の参加施設

(工事現場21、中間処理施設、再資源化施設、静脈物流センター)

